

陶芸・絵画

「みずなぎ学園」の障害者たち アート活動で個性を発揮



野焼きの作品(右側2つ)と土をねる人たち

見る側に人の持つ豊かな世界と可能性



奇妙な顔の作品

鹿原の知的障害者授産施設「みずなぎ学園」(森下多恵子園長)の障害者たちが、個性的な造形の陶芸や絵画作品を次々と生み出している。実用的な製品もつくる一方、障害者たちが自分の思いを表現するアート活動へと志向を変えている。作品は枠にはまらない楽しさや、人の持つ豊かな世界と可能性を見る側に与えている。十六日から綾部市志賀郷町の酒蔵さざ波を会場に、障害者の芸術活動に力を入れる奈良と滋賀の授産施設と、成生の高井さんらとともに展覧会に出品し、様々な個性をおつけ合って交流する。

16日から

他県の授産施設や
成生の高井さんらと

綾部で展覧会、来場呼びかけ

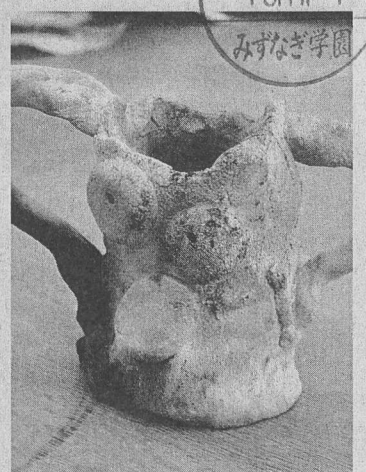
みずなぎ学園は六十四人が通所で利用。現在その中の十四人が、自由な発想で陶芸や絵画を作って販売している。その表現の中から大小の架空の人形、遺跡の出土品を思わせる原始的な造形物など、どれも枠にとらわれない、面白くて生き生きとした作品が生まれていく。以前に比べ縫製など色々な分野の作業をする中で、自分の得意な素

材に出合っ、作品の表現に自分の持ち味を発揮している。

また、六十人が入所する更生施設でも今年四月から、陶芸などの創作活動を取り入れた。市民からもオリジナルあふれる作品に関心が集まっている。

同施設更生部長の植田泰正さん(50)は「自分のイメージを膨らませて表現するアートに比重が移ってきた。個性的な作品づくりをして、みずなぎは面白いことをしていると思ってもらえれば」と話していた。

展覧会「楽居」には、四カ所の授産施設が陶芸や絵画などを展示する。奈良市のたんぼの家では、障害者が絵画や書などの作家として各地で個展を開き活躍している。滋賀県江南町のやまなみ工房、同県大津市の唐崎やよい作業所もアート活



野焼きの作品

9日、投票開票
有権者

衆議院選挙は九日投票、即日開票される。舞鶴市をはじめ京都北部をエリアとする京都五区では、共産党新人の吉田早由美氏(52)、自民党前職の谷垣禎一氏(58)と公明、保守新推薦、民主党新人の小林哲也氏(33)の三候補が激しい選挙戦を繰り広げている。

今回の選挙は、自民、公明、保守新党による小泉政権の継続か、民主党を中心とする新しい政権かの「政権交代」を焦点に、景気対策、年金制度教育、治安、地方分権などが争点となっている。有権者がどのような審判を下すか注目される。

投票は午前七時から一斉に始まり、午後八時に締め切られる。小選挙区は候補者名、比例区は政党名を記入して投票する。また、最高裁判所裁

十九、三十日の午前十一時～午後五時。入場無料
☎090・39934550、さざ波事務局

オブ

土でブルースバーを経営する宿業吉さんらがリー

合併1周年記念
特別キャンペーン
平成16年3月31日まで

しんきん
カーディガン
300万円以内
最長7年 保証人不要
お取引内容により最優遇固定金利
年1.8%
(基準金利年5.0%) 平成15年10月1日現在
別途保証料が必要。保証料:貸出期間5年、金額100万円の場合、27,900円
詳しくは窓口までお気軽にご相談下さい。
店頭「商品説明書」もご用意しています。
この街と生きていく
京都北都信用金庫
☎0120-4910-86